



青少年 とちぎ



令和2年3月19日 第218号

CONTENTS

- 1 親子学び合い事業
- 4 令和元年度青少年育成市町村民会議等全体研修会
- 6 ご寄附いただきました
- 7 特集“優良青少年団体”の紹介
『佐野日本大学短期大学
総合キャリア教育学科 こどもフィールド』
- 8 令和元年度栃木県青少年育成県民会議事業報告
- 9 財団事業のお知らせ
- 12 賛助会員(団体)のご紹介



栃木県青少年育成県民会議
シンボルマーク

【発行】栃木県青少年育成県民会議（(公財)とちぎ未来づくり財団青少年育成課）
宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1005 FAX028-650-5284 URL: <http://www.tmf.or.jp> E-mail: ikusei@tmf.or.jp

誕生!! とちぎネット利用アドバイザー

『親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～』の実施校拡大に向け、講師を養成する講座を今年度、県民会議主催で行いました。

講座(講師:NPO法人メディア研究協会 下田太一 理事長)に参加し、所定のプログラムを修了、かつ県民会議理事長より正式に講師として認定された方々は、次年度より“とちぎネット利用アドバイザー”として、活躍いただく予定です。

下田太一先生には、親子学び合い事業講師としても10年以上にわたり、お世話になってきました。多くの企業や専門家が安心・安全という視点から問題対処法を提案する中、根本的な「子どもの育ち」に着目され、独自の研究を進めていらっしゃいます。今後、ますますAIなどの技術が我々の想像をはるかに超えて進歩していく社会がやってくるでしょう。そのような予測困難な時代であっても主体的に判断し、自分の足で歩いて行くことができる自立した人を育てるため、私たち大人ができることは何かを常に模索し続けていらっしゃいます。

“とちぎネット利用アドバイザー”は子どもたちに価値あるインターネットとの向き合い方、自分を成長させるインターネット利用の在り方について新たな気づきを与える存在として、本事業の講師を務めます。

ネット時代の歩き方講習会 新リーフレット完成!!

インターネットが普及した現在、ネットに関わる課題は喫緊の課題となっています。その課題解決に向け、様々な企業などがインターネット利用に関する講習会を行っています。今回、県民会議主催の「ネット時代の歩き方講習会」の概要がわかりいただけるリーフレットを新たに作成いたしました。

すでに、各市町村民会議を通して、県内の小中学校、義務教育学校等には配付しました。本誌をご覧になられた方で、リーフレットをご希望の方は県民会議事務局までご連絡ください。



親子学び合い事業講師養成講座を受講して

下野市 青木正徳



現代はインターネットの普及で、子ども達の生活環境が大きく変化しました。しかし、子ども達がネット時代をどう生きるかを、学ぶ機会が不足していると感じていました。

今回、栃木県青少年育成県民会議主催の講師養成講座があることを知り、子ども達がネット時代を生きていくためのお手伝いができればと受講を申し込みました。4日間の講座で一番印象に残っているのは、「インターネットの利用はルールやマナーを守ることだけでなく、他者と関わる能力を持つことが大切である」ということで、例えば「自分の意見を持つ」「異なる意見を知る」「自分を大事にする」「疑問を持つ」「断る勇気を持つ」などです。こうした能力を取得した上でインターネットを活用し、成長できる子ども達を育てていくことだと感じました。つまり、スマホなどをどう使うかだけでなく、使う人の意識を高めていくことが大切であるということです。今回の講座では、子ども達を取り巻く情報環境の理解から始まり、4大リスク（有毒性、中毒性、関係性、社会性）などや、話し方、コンテンツの説明の仕方などを学びました。青少年メディア研究協会理事長の下田太一様の分かりやすいお話や、集まった方々と一緒に学ぶことで有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今後は、学校現場などで児童・生徒や保護者の皆様にこの講座で学んだことを伝え、子ども達がネット時代を元気に成長していけるよう協力していきたいと考えています。さらに、最新の情報や講師としての力量を高めるための研修を続けていきたいと思っています。

益子町 中田 晃子



インターネットが持つ「魔法」。この大きな概念にもっと早くに気付きたかったと思いました。「情報」や「環境」などのように、本人も気付かないうちに考え方や生活に大きな影響を与えてしまう状況は、まさに「魔法」そのものであると感じるとともに、その概念を学ぶ機会を得られたことは私にとって貴重な経験となりました。

自分が知りたいことを「検索」するだけで、様々な情報を簡単に手に入れることができるインターネットは様々な人と簡単に関わることができる素晴らしい道具なのに、なぜコミュニケーションが苦手になってしまう人が増えるのか。

この疑問に対し、本講座を通して学んだインターネットの持つ「魔法」という概念はとても分かりやすいものでした。

環境を整えるためにはまず問題を把握すること、情報を活用する人自身が情報の持つ内容に対して考えることができるようになること、情報に惑わされずに活用する力を身につけていくこと等の積み重ねによって、社会で主体的に生きていく力がつくようになるという考えは、答えのない問いに答えなければならない時代には重要なことであると思います。

学び方を学ぶことの重要性と、日常生活の中での学びによる自身の成長についてなど、受講を通して学んだことを今後の活動に活かせるようになりたいと思っています。

次年度も親子学び合い事業講師（とちぎネット利用アドバイザー）養成講座は開催予定です。詳しくは（公財）とちぎ未来づくり財団ホームページをご覧ください。

県外の青少年健全育成に関わる活動紹介 東京都八王子市立中学校PTA連合会『中学生ミーティング』

東京都八王子市立中学校PTA連合会は2015年より子ども達のインターネット利用に関する問題を考えるためのワーキンググループを設け、毎月一回程度の話合いを行っています。中学生ミーティングの発案は、その話合いの中で飛び出した「子ども達の声を聞きたい」という一言から生まれたそうです。

ルールを決めたけれど守られていない理由は何だろうか?子ども達にとってスマートフォン(以下「スマホ」とはどのような存在なのだろうか?そんな課題や目的を見つけるための話合いの場を設け、子どもも大人も一緒になってこれからの子どもの育ちを考えていきたいという強い願いが主催者側にはあります。

このミーティングにNPO法人メディア研究協会の下田太一先生がファシリテーターとして関わっていらっしゃることから、今回、栃木県青少年育成県民会議事務局も、このミーティングを参観させていただきました。

スマホがない時代は、家に帰れば自分の世界だけでした。(もちろん用があれば、友達に電話連絡をすることはありましたが)しかし、現在は、家にいてもリアルタイムに友達との会話が進んでいます。

『直接会って話す』ためにはお互い時間を合わせる必要があるし、そのための時間もかかる。タイムリーに連絡を取り合いたい。」「ノートの作り方など参考になることもネット上から調べることができる。使う目的は遊びだけではない。」とスマホの必要性を訴える中学生。

一方で、「中学生のうちは行動範囲がそう広いわけではないから、スマホは必要ない。」「ゲーム障害やスマホ依存という言葉を聞くが、やはり、自分で時間を決められないので持たせることに抵抗がある。」「今は、コミュニケーションのとり方を練習する段階だから、対面でのやりとりが望ましいのではないか。」と主張する保護者側。

スマホの登場によって『今までできなかったことができるようになった』と考えることもできますし、『スマホがないから実現できることもある』と考えることもできます。どちらが正しいということはなく、常に探し続ける姿勢が大事だとファシリテーターの下田先生は話されていました。

「電車の中はいろいろな人がいる。スマホを見ているとその中に自分が入ってしまうので、あえて、スマホを触らないようにしている。」というように、我々大人でも失ってしまいそうな大切な感覚を持っている中学生の意見がありました。また、「オンラインゲーム上で会ったことのない人と知り合った。Tik Tokで知らない人からダイレクトメッセージが届いた。」というネット上での出会いを経験している中学生もいました。

ネットの登場により、明らかに子ども達の生活環境や感覚は変化しています。下田先生はさらに「ある程度の社会常識や自分で考え行動する習慣が身につけてからネットを使い始めた現在の大人に比べ、そうした学習の最中にネットを使い始めた中学生は2つの課題を抱えています。ひとつは情報の刺激が強すぎて、振り回されやすい生活の日常化。様々な情報の中から、良い情報を選び判断できているか心配です。もうひとつは手本となる大人が乏しいこと。スマホの何が子ども達に価値をもたらすのか判断する基準が乏しいのです。これらの理由によって、今子ども達が習慣的に身につけようとしている事や物事の捉え方が、よりよい方向へ向かっているのか、あるいは墮落してしまっているのか、評価することが難しくなっています。そのため、こうした話合いを通じて**中学生の『当たり前』に目を向け、彼らを理解し大人に導くためのヒントを探ることが必要**なのです。」と話されました。

子ども達の声に耳を傾け、子ども達から学び、今後の生活に役立てていこうとする熱い思いを持ったPTA連合会の皆様の思いに感銘を受けました。



令和元年度青少年育成市町村民会議等全体研修会を実施しました

今年度の全体研修会は2月20日(木)、栃木県総合教育センターで開催し、約100名の方にご参加いただきました。主な内容は下記の通りです。

県民会議主催(午前中の部)の研修内容について抜粋して掲載します。

県民会議からは今年度の事業報告並びに次年度の予定について説明をしました。今年度の県民会議の事業報告については本誌の8ページにも掲載しております。今年度は各市町村民会議で実施した事業の詳細が伝わるように具体的な内容を報告していただきました。それらを一冊にまとめ各市町村民会議の事業報告として出席者の皆様に提供しました。「どのような事業を展開しているか分かりやすい」「大変参考になる」というお声をいただきました。ご活用いただければ幸いです。

次に、県民生活部人権・青少年男女参画課からは栃木県と一般社団法人倫理研究所 栃木県倫理法人会が家庭の日の普及啓発のため、協定を締結したとの報告がありました。栃木県倫理法人会は栃木県内に約2000社の会員をもつ組織です。青少年の成長に関わる家庭、学校、職場、地域がそれぞれの特性を生かし、相互に連携・協力しながら重層的に支援することによって、県民が心をつなげた県民総ぐるみ運動「とちぎ心のスクラム県民運動」がより効果的に展開されることが期待されます。

さらに、栃木県青少年育成アドバイザー会の小林勇治会長より、今年度11月に行われました「全日本青少年育成アドバイザー連合会関東甲信越ブロック交流会」の報告がありました。本県での開催は10年ぶりでした。当日は本県から青少年育成アドバイザー、青少年育成指導員が参加、東京都や埼玉県のアドバイザーと情報交換がなされました。本県の特徴として、県民会議をはじめ青少年育成関係団体との連携が図られていること、後継者の育成に力を入れていることがあげられました。また今年度も全日本青少年アドバイザー連合会主催のアドバイザー養成講座に県内から2名が参加したとの報告がありました。



最後に、中央児童相談所虐待対応課の半田貴章副主幹兼課長より「今日の児童虐待について」お話いただきました。現在、児童虐待がニュース等で大きく取り上げられています。決して今日的な問題ではなく、昔からあった大変身近な問題であることや虐待は家の中で行われるので、基本的には外から見えにくく、通告されているのは氷山の一角だと教えてくださいました。冒頭では、児童福祉法や児童虐待防止法など虐待に関する法の歴史や内容についてふれ、虐待には身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待があり、これらによって脳の萎縮、鬱病などの精神疾患、PTSD、解離性同一障害など様々な影響がおこってしまうことなどについても教えていただきました。

虐待を知ることが、支援と回復の可能性を広げることであり、今回の研修会に参加した方々のお力は大変大きなものであることを強く感じました。

参加者からは「大変興味深い内容であり、とても参考になった」「法ができた背景など具体的で分かりやすかった」などの感想をいただきました。

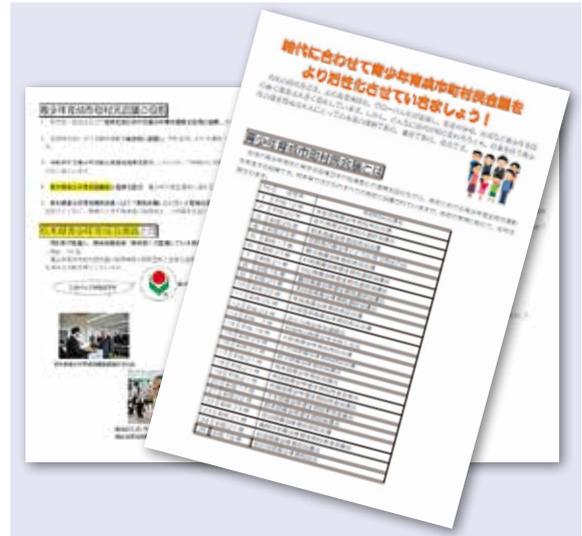


市町村民会議とは？

地域の青少年育成に関する各種団体や指導者との連携を図りながら、市町における青少年健全育成運動を推進する組織です。

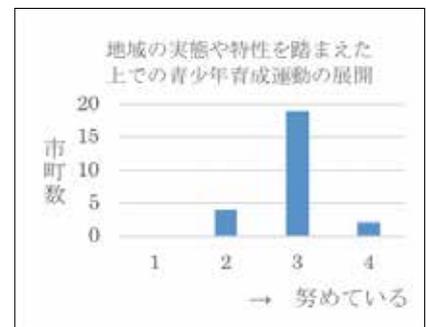
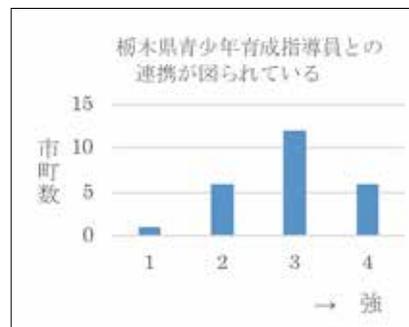
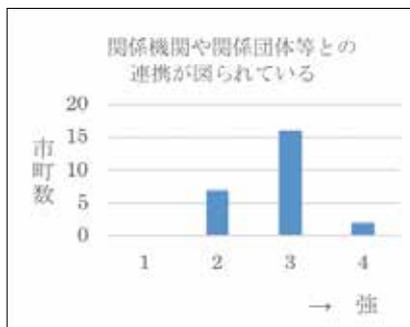
全市町に設置されている組織とはいえ、認知度は決して高いとはいえない現状があります。そこで、より多くの方々に知っていただくために、県民会議ではリーフレット『時代に合わせて青少年育成市町村民会議をより活性化させていきましょう！』を作成しました。

また、全ての市町にご協力いただき、現況アンケートを行いました。



市町村民会議の現況アンケート結果（一部抜粋）

令和元年12月実施
栃木県内全市町村民会議対象



市町村民会議とはどのような組織なのか、特に地域のボランティアリーダーとして県民会議会長である栃木県知事が委嘱している栃木県青少年育成指導員との連携の在り方等について、ご確認いただければ幸いです。

2019 家庭の日絵日記コンテスト参加賞を配布しました。

ふれあい育む「家庭の日」を広報・啓発し、県民総ぐるみで青少年の育成に取り組むために、家族のふれあいや思い出等をテーマにした「家庭の日絵日記コンテスト」を平成19年から実施しています。県内にお住まい、または通学している小学生以下の方が対象です。13回目を迎えた今年は1,406点のご応募がありました。応募者全員に参加賞を配布しており、今年はカレンダーを作成して配布しました。カレンダーには最優秀賞、優秀賞、優良賞の全13作品を掲載しているほか、家庭の日について紹介しています。絵日記コンテストは来年度も実施する予定です。決定次第、応募方法等詳細を下記ホームページに掲載いたします。ご応募お待ちしております。

絵日記コンテストお問合せ

栃木県青少年育成県民会議

Tel: 028-643-1005 E-mail: ikusei@tmf.or.jp

URL: <http://www.tmf.or.jp/youth.html>



菊池宏行氏(東京石灰工業(株)代表取締役社長)からご寄附いただきました

当財団の評議員を務める東京石灰工業株式会社及び佐野ガス株式会社の代表取締役社長である菊池宏行氏が、青少年の健全育成に役立てて欲しいと30万円を栃木県青少年育成県民会議へ寄附し、令和元年12月13日(金)に栃木県庁において寄附金ならびに感謝状の贈呈式が行われました。

当日は、菊池社長から寄附金の目録が栃木県青少年育成県民会議会長の福田富一知事に手渡され、会長からは感謝状が贈呈されました。

菊池社長の“青少年の健全育成に役立てて欲しい”という思いから、毎年、ご寄附いただき、今回で10年目になります。平成22年度より県民会議事業の「親子学び合い事業」に充当してきました。こちらは、平成29年度までは携帯電話講習会として、平成30年度よりネット時代の歩き方講習会として、展開しております。インターネットが普及した現代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える内容の講習会ですが、令和元年度は、小中学校、特別支援学校あわせて63校で実施しました。

懇談では、本誌でも冒頭に紹介した講師養成講座の開催についてもふれ、青少年を育てる大人が学ぶ機会の確保や講習会の必要性についてもお話されていきました。会長もまた、長年にわたる寄附に対し謝辞を述べるとともに、青少年の健全育成にますます努力すると応えました。



栃木県更生保護女性連盟よりご寄附いただきました

1月16日(木)、ホテル東日本宇都宮にて栃木県更生保護女性連盟「新春のつどい」が開かれ、その席上で当財団を含む13団体に栗田治江会長から「愛の募金」の贈呈がありました。当財団の小林延年理事長が贈呈式に参加しました。

栃木県更生保護女性連盟からはこのほか「栃木県少年の主張発表県大会」出場者に対し、記念品として長年にわたり図書カードをご提供いただいております。昨年9月21日(土)に宇都宮市文化会館で行われました県大会では栗田会長にご登壇いただき、壇上で代表者に記念品を贈呈されました。



特集「栃木県青少年育成県民会議表彰」優良青少年団体の紹介 ～佐野日本大学短期大学 総合キャリア教育学科 こどもフィールド～

私たち佐野日本大学短期大学こどもフィールドは、「キッズプラザさのたん」という子育て支援活動を年間で20回実施しています。このキッズプラザさのたんでは、地域の家庭保育をしている乳幼児とその保護者を対象とし、本学保育ルームの開放と、幼稚園教諭や保育士を目指す学生によるあそびの提案やおもちゃの製作活動、更には看護師による育児相談や発達相談等を行っています。



本活動の目的は大きく3点あります。1点目は、本学保育ルームの開放を通して、利用される方々が安心して過ごせる空間を提供すると共に、保護者間での交流やリフレッシュできる機会をつくることです。

2点目に、本学で保育や教育について学んでいる学生が、実践の場として経験を積み、学ぶ機会を作ることです。また、利用している親子との触れ合いを通して、乳幼児と関わる力の向上

と、子育て支援に関する基礎的理解を深めることを目指しています。

3点目は、本活動を通して本学が持っている資源（人材・環境・知識等）を活かし、佐野市を中心とした近隣地域に貢献することと地域活性化、そして子ども達の健やかな未来を支えることを目的としています。

本活動の実施時期は、大学の長期休みと学生の実習期間を除いた5月、7月、10月、11月、12月の毎週水曜日の午前10時～12時の2時間行っています。その他にも、本学文化祭の「みかも祭」開催期間にも実施をし、毎年多くの親子連れで賑わいます。



本活動の具体的な内容として、自由遊び時間の他に、学生が企画した活動を実施しています。内容は、季節や子ども達の発達段階に合わせて学生が毎回趣向を凝らして企画しており、親子で楽しめる内容になっています。例えば、夏には魚釣りゲームやアイスクリームの製作活動を行い、冬にはクリスマスリースづくりを行うなど、季節感を味わえるような工夫をしています。また、新聞紙や紙皿など身近な素材を使い、家庭でも簡単に作れるおもちゃ作りや、親子での触れ合いあそび、音楽を使ったリズムあそびなど、子どもだけでなく大人も一緒に楽しめる時間と空間の提供を心掛けています。

キッズプラザさのたんを運営していくにあたり、私たちがこれまで一貫して大切にしてきたことは、「子どもと保護者の心に寄り添う」ということです。利用者目線に立った適切な支援や配慮を心掛け、「また来たい」と思ってもらえるような居心地の良い空間・雰囲気づくりに学生一同取り組んできました。

2008年より始まった本活動も、今年で11年目を迎え、これまで多くの方々にキッズプラザさのたんを利用して頂きました。数年に亘りご兄弟で本学に通って頂いたご家族や、本学卒業生がお母さんになり訪れてくれるなど、これまでに様々な出会いやエピソードがこの場から生まれました。これからも心に寄り添う支援を大切にし、地域の子ども達とその保護者の皆様に長く利用して頂ける「キッズプラザさのたん」を目指していきたいと思ひます。

2008年より始まった本活動も、今年で11年目を迎え、これまで多くの方々にキッズプラザさのたんを利用して頂きました。数年に亘りご兄弟で本学に通って頂いたご家族や、本学卒業生がお母さんになり訪れてくれるなど、これまでに様々な出会いやエピソードがこの場から生まれました。これからも心に寄り添う支援を大切にし、地域の子ども達とその保護者の皆様に長く利用して頂ける「キッズプラザさのたん」を目指していきたいと思ひます。



令和元年度 栃木県青少年育成県民会議事業報告

事業名	対象	内容	実施時期
1 市町村民会議との連携強化、住民啓発促進に関する事業			
(1) 青少年育成市町村民会議支援	青少年育成市町村民会議	<ul style="list-style-type: none"> 市町村民会議の組織強化、活動支援 市町村民会議対象の全体会議、研修会の開催 内閣府主催中央研修会への派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 全体連携会議：102名参加 6月19日(水)総合教育センター 全体研修会：100名参加 2月20日(木)総合教育センター 「子ども・若者育成支援地域連携」中央研修会(11月) 佐野市、上三川町より参加
(2) 青少年育成指導員活動支援	青少年育成指導員	<ul style="list-style-type: none"> 育成指導員の設置、活動支援 育成指導員対象の研修会開催、助成 内閣府主催ブロック研修会への派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 自主研修会(年3回) 地区別研修会(8地区) 「子ども・若者育成支援地域連携」関東甲信越静ブロック研修会(9月) 育成指導員4名参加
(3) 広報啓発	一般県民	<ul style="list-style-type: none"> 「青少年とちぎ」の発行 県民運動啓発チラシ、物品等の作成 「ふれあいフェスティバル」への参加 新規賛助会員の募集 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年とちぎ発行(年3回 7,12,3月) ふれあいフェスティバル： 10月27日(日)とちぎ青少年センター
(4) 青少年育成団体連携	各青少年育成関係団体	<ul style="list-style-type: none"> 各青少年育成関係団体との連絡調整 県、市町、団体等の実施する青少年育成関連事業への共催、後援、参加 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区青少年育成協議会総会、研修会 青少年育成関係団体の連携事業開催日
2 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業			
(1) 少年の主張発表大会	中学生 一般県民	<ul style="list-style-type: none"> 地区大会への助成 県大会の開催 全国大会への推薦 	<ul style="list-style-type: none"> 地区大会：河宇(8/21)、下都賀(8/22) 芳賀(8/22)、上都賀(8/24) 安足(9/3)、那須(9/5) 南那須(9/12)、塩谷(9/13) 県大会：9月21日(土) 宇都宮市文化会館小ホール 全国大会：12月8日(日) オリンピック記念青少年総合センター 《努力賞受賞》 下野市立南河内第二中学校3年 星 優莉香さん
(2) 青少年育成県民会議表彰	一般県民	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成に功績のあった青少年団体、個人等の表彰 	<ul style="list-style-type: none"> 表彰応募：5月～8月 審査：9月 表彰：11月15日(金) 県公館 子ども育成・憲章功労者 29名 子ども育成・憲章功労者団体 18団体 社会貢献青少年 3名 優良青少年団体 3団体
(3) 子ども読書活動推進	一般県民	「2019栃木子どもの本連続講座」の実施 「子どもに読書のよろこびを」	講座：教育会館小ホール 4回(6/15)(7/6)(8/31)(9/21) 延べ約400名参加
(4) 生き生き体験活動	ジュニアリーダー スクラブ等	<ul style="list-style-type: none"> 中高生のリーダー育成を図る団体への活動助成 	通年 9団体へ助成
(5) 親子学び合い～ネット時代の歩き方講習会～	小中学生とその保護者、及び特別支援学校等の児童生徒とその保護者	<ul style="list-style-type: none"> ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える講習会の開催 	講習会：5月～2020年2月 各市町小中学校、義務教育学校 各特別支援学校等 計63校で実施
(6) 親子学び合い講師養成講座	一般県民で将来「親子学び合い事業」の講師として活動する意思のある方	<ul style="list-style-type: none"> 親子学び合い事業の講師として将来活躍できる人材の育成 	講座：とちぎ青少年センター 4日間(①～④のうち各1日参加) ①8月4日・5日 ②9月1日・2日 ③9月29日・30日 ④10月6日・7日 31名受講
3 「心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動」推進事業			
(1) 「県民のつどい」開催	一般県民、青少年育成関係者等	<ul style="list-style-type: none"> 心豊かな青少年を育む県民大会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県民のつどい：6月22日(土) 那須野が原ハーモニーホール 900名参加
(2) 「家庭の日」推進	一般県民	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭の日」絵日記コンテストの実施 「家庭の日」啓発物の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 募集期間：7月～9月 入賞者表彰：11月15日(金)県公館 応募数：1,406点

とちぎ未来づくり財団事業のお知らせ

栃木県総合文化センター



問い合わせ先 028(643)1010 (文化振興課)
住所 宇都宮市本町 1-8
URL <http://www.sobun-tochigi.jp>
E-mail tmf@tmf.or.jp



栃木県総合文化センターリニューアル記念イヤーとして、スペシャルな企画を盛りだくさんでお贈りいたします！
(ホール棟2020年4月1日リニューアルオープン！)

栃木県総合文化センター リニューアルオープン記念公演

「狂言 万作の会」

開館から続く大人気狂言シリーズ初の日曜日開催！
親子三代の共演!!

- 狂言鑑賞講座:野村萬斎
- 狂言「三本柱」:野村万作
- 語「奈須與市語」:野村裕基
- 狂言「蘭罪人」:野村萬斎



野村 万作 (人間国宝) 野村 萬斎 野村 裕基

4月12日(日)
14:00開演

会場:メインホール 特設能舞台
SS席(完売!)円 S席4,000円 残席わずか!
A席3,000円(A席学生2,000円)

好評発売中!

林真理子の劇場で愉しむ『オペラ』なるもの

～とちぎが誇る全国音楽コンクール「コンセル・マロニエ21」入賞者と共に～
作家の林真理子が、人気声楽家らと華麗なるオペラの世界をご案内するトーク&コンサート!

【出演】林真理子(作家)、小林沙羅(ソプラノ)、
西村悟(テノール)、山下裕賀(メゾソプラノ)
ヴィタリ・ユシュマノフ(バリトン)



林 真理子

5月17日(日) 14:00開演

会場:メインホール

記念価格 S席3,800円
(来場者特典付!) A席2,800円

好評発売中!

(A席学生1,400円)

松竹大歌舞伎

【演目】一、義経千本桜 川連法眼館の場
二、連獅子

【出演】中村芝翫、中村松江、坂東新悟、中村橋之助、
中村福之助、中村歌之助、中村梅花 ほか



「連獅子」中村 芝翫
写真提供:松竹

5月23日(土)

昼の部14:00開演 夜の部18:00開演

会場:メインホール

特等席7,000円 一等席6,000円
二等席5,000円(二等席:25歳以下2,500円)

好評発売中!

平日の贈り物♪ランチタイムコンサート Vol.35

羽石道代 ピアノ・リサイタル

～県民の日&リニューアルオープンスペシャル!～
お気軽にお越しいただける休憩なし60分の
プログラム。

とちぎ生まれのファンタスティック・ピアニスト
羽石ワールドに酔いしれるひとときを



羽石 道代

6月15日(月) 12:00開演

会場:サブホール

自由席1,000円

4月17日(金)
発売!

公演開催に関する最新情報を必ず事前にお確かめのうえ、ご来場ください。



栃木県子ども総合科学館



問い合わせ先 028(659)5555
住所 宇都宮市西川田町567
URL <http://www.tsm.utsunomiya.tochigi.jp>

プラネタリウム一般向け番組 「HORIZON～宇宙の果てにあるもの～」

会場:プラネタリウム

期日:3月25日(水)～5月31日(日)

定員:280名

内容:天動説から地動説へ、そして定常宇宙論からビッグバン宇宙論へ。星々を見続けた人々の姿から宇宙探求の本質に迫ります。宇宙探査機WMAPプロジェクトの主要メンバーであった宇宙物理学者、小松英一郎氏のもと、最新理論を迫力あるCGで表現します。季節の星空紹介とともに楽しみください。



ゴールデンウィークイベント 「あつまれ!こども探偵団!」

期日:5月2日(土)、3日(日)、4日(月)、6日(水)
各日12:00～16:00(受付～15:30)

会場:展示場

内容:展示場にちりばめられた謎を一緒に解き明かそう!

料金:展示場観覧料が必要です。



プラネタリウム年少向け番組 「ブラックホールのひみつ」

会場:プラネタリウム

期日:3月25日(水)～8月30日(日)

定員:280名

内容:ブラックホールに興味をもったヒロトくんは、科学館に足を運びます。展示場で見つけた謎の穴から宇宙船に入り込んでしまったヒロトくん、科学館のマスコットキャラクター「未来くん」と一緒に、ブラックホールの調査に向かうことに。季節の星空紹介とともに楽しみください。



忍者道場 ～令和巻の巻～

期日:5月17日(日) 12:00～16:00 (～15:30受付)

会場:メインホール、多目的ホール、企画展示室

内容:忍者になるための修行(チャレンジゲーム)に挑戦してニンニンメダルをゲットする。ニンニン!

料金:展示場観覧料が必要です。





とちぎ海浜自然の家



問い合わせ先 0291(37)4004
住所 茨城県銚田市玉田336-2
URL <http://tochigikaihin.jp/>

～令和2年度（上半期）事業告知～ 令和2年度も魅力的な主催事業が盛りだくさん！

①海釣り入門

- ・期 日：令和2年5月9日(土)～10日(日)
茨城の海でカニ釣り、磯釣りに挑戦
- ・募集人数：80名
※県民（参加者全て小学4年生以上）対象

②海浜の旬・メロン

- ・期 日：①令和2年5月30日(土)～31日(日)
②令和2年6月6日(土)～7日(日)
日本一の銚田メロンのお土産付き
- ・募集人数：各200名 ※県民対象

③海浜夏まつり

- ・期 日：令和2年7月4日(土)～5日(日)
地引網体験ができる人気の夏まつり
- ・募集人数：250名
※県民対象

④山の子！海の子！海浜に集まれ！

- ・期 日：令和2年8月29日(土)～30日(日)
茨城の家族との交流体験活動！地引網体験もあります
- ・募集人数：30組（栃木20組／茨城10組）
※栃木県民および茨城県民
（参加者全て小学生以上）対象

詳しくは、とちぎ海浜自然の家のホームページをご覧ください。

とちぎ海浜自然の家では、栃木県で体験できないような海を生かした主催事業を企画して、皆様の参加をお待ちしております。ぜひ、お越しください。



①海釣り入門



②海浜の旬・メロン



③海浜夏まつり



④山の子海の子海浜に集まれ！



なす高原自然の家



問い合わせ先 0287(76)6240
住所 那須町湯本 157
URL <https://windy-nasu.jp>

来年度の主な主催事業について

なす高原自然の家では、那須ならではの様々なイベントを計画しています。
皆様のお越しを心よりお待ちしております。

◆ふれあい登山教室①～③◆

～那須の雄大な自然に親しむ！～

- 開催日：①令和2年8月8日(土)～8月9日(日)(茶臼岳)
②令和2年9月12日(土)～9月13日(日)(朝日岳)
③令和2年10月3日(土)～10月4日(日)(姥ヶ平)
- 対象：①家族 ②成人 ③成人
- 定員：それぞれ35名 ※申込み多数の場合は抽選
- 内容：前日のハイキング・アルコールストーブ作り・講話・登山など

◆冬のファミリーデー①②◆

～家族で楽しく雪遊び！冬的那須を満喫！～

- 開催日：①令和3年1月23日(土)～1月24日(日)
②令和3年2月13日(土)～2月14日(日)
- 対象：家族
- 定員：25家族 ※申込み多数の場合は抽選
- 内容：雪遊び・アイス作り・創作活動など

※詳しくは、ホームページや電話でお問い合わせください。



ふれあい登山
(8～10月)



わくわく体験デー
(10月)



こどもチャレンジキャンプ
(11月)



クリスマスファミリーデー
(12月)



冬のファミリーデー
(1～2月)



栃木県埋蔵文化財センター



問い合わせ先 0285(44)8441
住所 下野市紫 474
URL <http://www.maibun.or.jp>

埋蔵文化財センターでは、開館日にバックヤード・ツアーを行っています（10:30～、14:00～。）常設展示室では、県内の発掘調査で出土した遺物を用いて、旧石器時代から奈良・平安時代までの歴史を分かりやすく説明します（9:30～16:30、最終入館16:00）。さらに、遺物収蔵庫では、実物の土器に触ることができます。

また、春には常設展示のほかに、テーマ展示を行い、その期間中にはテーマ展示に関わる講座を行います。

夏休み期間中には「センター特別公開」を行います。普段展示していない出土品を公開し、子供から大人まで楽しめる各種イベントを用意します。昨年度は、弓矢体験、勾玉作り、土器・土偶作り、古代文字体験、土器パズルなどを行い、4日間で600人以上が参加しました。

また、年間を通じて、多くの小学生が、校外学習の一環として、常設展示室の見学や勾玉作り体験をするために当センターを訪れます。



センター特別公開（弓矢体験）



センター特別公開（古代文字体験）



テーマ展講座

■ 栃木県青少年育成県民会議からのお知らせ

栃木県青少年育成県民会議では 「県民総ぐるみで健全なとちぎの青少年を育むために」

賛助会員を募集しています。

当県民会議は、昭和43年に設立されて、県と一体となり、青少年の健全育成のため、地域の組織づくりや明るい家庭づくりの推進を始め、環境浄化・非行防止活動に取り組んでいます。

最近では、特に「とちぎ心のスクラム県民運動」等により、県民が心をつなげて、健全な青少年を地域全体で育成していこうとする気運が生まれつつありますが、この運動を更に盛り上げるためには、地域で活発に活動をされておられる“多くの県民の皆様にも広く協賛をいただいている”という一体感の醸成が不可欠なものと考えております。

こうしたことから、県民会議では一層の賛助会員の広がりを目指し、県民をあげてこの青少年の健全育成を図る土壌づくりを更に進めたいと考えております。

また、賛助会員の皆様からの賛助会費は、貴重な財源として活動経費に充てさせていただいておりますが、より充実した活動の推進のために、更なる支援が必要となっております。

つきましては、栃木県の青少年を更に健全に育成するために、以上の趣旨をご理解のうえ賛助会員にご入会いただき、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

栃木県青少年育成県民会議
理事長 小林 延年

賛助会員数（令和2年3月現在）	個人	247人
	団体	173団体
賛助会費	団体（1口）	10,000円
	個人（1口）	3,000円

お申し込みは、<http://www.tmf.or.jp/youth.html>から「賛助会員加入申込書」をダウンロードしてご連絡下さい。

栃木県青少年育成県民会議賛助会員(団体)のご紹介

団体会員(50音順・敬称略)

令和2年3月現在 173団体

※個人情報保護のため個人会員の方々は掲載を控えさせていただきます。

- 足利小山信用金庫
- 足利市更生保護女性会
- 一般財団法人栃木県青年会館
- 一般社団法人ガールスカウト栃木県連盟
- 一般社団法人栃木県医薬品登録販売者協会
- 一般社団法人栃木県銀行協会
- 一般社団法人栃木県経営者協会
- 一般社団法人栃木県子ども会連合会
- 一般社団法人栃木県歯科医師会
- 一般社団法人栃木県商工会議所連合会
- 一般社団法人栃木県幼稚園連合会
- 一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会
- 茨城寺岡オート・ドア株式会社
- 医療法人社団友志会
- 宇都宮更生保護女性会
- 宇都宮西ライオンズクラブ
- 宇都宮文化センター株式会社
- 栄研化学(株)那須事業所
- 栄研化学(株)野木事業所
- 王冠ボウル
- 株式会社暁恒産
- 株式会社足利銀行
- 株式会社アメザワ
- 株式会社井上総合印刷
- 株式会社エフエム栃木
- 株式会社オヤマ
- 株式会社小山
- 株式会社小山商会 筑波営業所
- 株式会社島崎酒造
- 株式会社清水造園
- 株式会社下野新聞社
- 株式会社新成エンジニアリング
- 株式会社太陽警備保障
- 株式会社大高商事
- 株式会社ダスキンニューアイドル
- 株式会社栃木銀行
- 株式会社とちぎテレビ
- 株式会社栃木ファミリー
- 株式会社栃木放送
- 株式会社中村製作所
- 株式会社ブレーン
- 株式会社本田技術研究所 統括機能本部
人事企画推進室 庶務・渉外ブロック
- 株式会社松井ピ・テ・オ印刷
- 株式会社コーテック
- 株式会社吉野工業所 宇都宮工場
- 環境整備株式会社
- 菊地歯車株式会社
- 公益財団法人産業雇用安定センター
- 公益財団法人栃木県体育協会
- 公益財団法人栃木県農業振興公社
- 公益財団法人栃木県ひとり親家庭福祉連合会
- 公益財団法人栃木県保健衛生事業団
- 公益財団法人日本ボーイスカウト栃木連盟
- 公益社団法人栃木県看護協会
- 公益社団法人栃木県獣医師会
- 公益社団法人栃木県食品衛生協会
- 公益社団法人栃木県防犯協会

- 佐野ガス株式会社
- 佐野信用金庫
- 佐野地区金融団
- 下野印刷株式会社
- 下野市議会
- 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
- 社会福祉法人蓬愛会
- 鈴運メンテック株式会社
- 鈴木印刷株式会社
- 住販株式会社
- 滝沢ハム株式会社
- 「小さな親切」運動栃木県本部
- 地方独立行政法人新小山市民病院
- 中央労働金庫栃木県本部
- 都賀総合開発株式会社
- 東亜警備保障株式会社
- 東京石灰工業株式会社
- 東石建設株式会社
- 東石リース株式会社
- 栃木県PTA連合会
- 栃木県アミューズメント施設営業者協会
- 栃木県医師会
- 栃木県開拓農業協同組合
- 栃木県空手道連盟
- 栃木県弓道連盟
- 栃木県建設産業団体連合会
- 栃木県剣道連盟
- 栃木県興行生活衛生同業組合
- 栃木県公共図書館協会
- 栃木県更生保護女性連盟
- 栃木県高等学校PTA連合会
- 栃木県高等学校体育連盟
- 栃木県高等学校長会
- 栃木県公民館連絡協議会
- 栃木県古書籍商組合
- 栃木県コミュニティ協会
- 栃木県済生会宇都宮病院
- 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟
- 栃木県市議会議長会
- 栃木県肢体不自由児者父母の会連合会
- 栃木県市長会
- 栃木県市町村教育委員会連合会
- 栃木県社会教育委員協議会
- 栃木県射的協会
- 栃木県柔道連盟
- 栃木県小学校長会
- 栃木県商工会女性部連合会
- 栃木県商工会青年部連合会
- 栃木県商工会連合会
- 栃木県職場警察連絡協議会
- 栃木県女性団体連絡協議会
- 栃木県書店商業組合
- 栃木県私立中学高等学校連合会
- 栃木県神社庁
- 栃木県信用金庫協会
- 栃木県信用保証協会
- 栃木県青少年育成アドバイザー会
- 栃木県青少年育成指導員会

皆様からの温かい
ご支援に感謝
申し上げます。



- 栃木県青少年クラブ協議会
- 栃木県青少年指導員会連絡協議会
- 栃木県青少年団体連絡協議会
- 栃木県ソフトテニス連盟
- 栃木県ソフトボール協会
- 栃木県卓球連盟
- 栃木県たばこ販売協同組合連合会
- 栃木県地域婦人連絡協議会
- 栃木県中学校体育連盟
- 栃木県中学校長会
- 栃木県中小企業団体中央会
- 栃木県町村会
- 栃木県町村議会議長会
- 栃木県農業協同組合中央会
- 栃木県農協青年部連盟
- 栃木県バドミントン協会
- 栃木県ハンドボール協会
- 栃木県美容業生活衛生同業組合
- 栃木県保護司会連合会
- 栃木県民生委員児童委員協議会
- 栃木県薬事工業会
- 栃木県遊技業協同組合
- 栃木県ユネスコ連絡協議会
- 栃木県ラグビーフットボール協会
- 栃木県理容生活衛生同業組合
- 栃木県林業振興協会
- 栃木県レクリエーション協会
- 栃木県レスリング協会
- 栃木県連合教育会
- 栃木県連合青年団
- 栃木県労働者福祉協議会
- 栃木子どもの本連絡会
- 栃木市更生保護女性会
- 栃木市青少年問題協議会
- 栃木商工会議所
- 栃木たばこの会
- 獨協医科大学病院
- トヨタカローラ栃木株式会社
- 那珂川町更生保護女性会
- 那須烏山市更生保護女性会
- 那須塩原市黒磯地区更生保護女性会
- 那須南農業協同組合
- 芳賀赤十字病院
- はが野農業協同組合
- 芳賀町工業団地連絡協議会
- 平石環境システム株式会社
- 藤井産業株式会社
- 平成アルミ株式会社
- 平成理研株式会社
- 水戸通信工業株式会社
- 有限会社荒井モーターズ
- 有限会社岩井自動車商会
- 有限会社正栄社印刷所
- 有限会社高久燃料店
- 有限会社那須クリーンセンター
- ユーレストジャパン株式会社
- ライオンズクラブ国際協会333-B地区